

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果(抜粋)

調査概要

(1) 調査目的

本調査は、令和6年度から令和8年度までの「第9期益田市老人福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策を検討するために、日頃の生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を把握することを目的として実施した。

(2) 調査の実施について

対象者	令和4年9月1日現在、益田市にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く)から無作為抽出した1,600人
実施期間	令和4年11月16日(水)～令和4年11月30日(水)
実施方法	郵送配布、郵送回収

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
1,593件	1,252件	1,250件	78.5%

※発送日時点で転出・死亡等を除いた方に配布しています。

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

回答者の属性

単位：上段（人）／下段（％）

	全 体	中 部	東 部	西 部	美 都	匹 見
全 体	1250 100.0	309 24.7	315 25.2	320 25.6	148 11.8	158 12.6

性別

男性	606 100.0	151 24.9	149 24.6	154 25.4	76 12.5	76 12.5
女性	644 100.0	158 24.5	166 25.8	166 25.8	72 11.2	82 12.7

年齢

前期高齢者	522 100.0	128 24.5	130 24.9	137 26.2	63 12.1	64 12.3
後期高齢者	728 100.0	181 24.9	185 25.4	183 25.1	85 11.7	94 12.9

年齢

65～69歳	255 100.0	62 24.3	63 24.7	63 24.7	34 13.3	33 12.9
70～74歳	267 100.0	66 24.7	67 25.1	74 27.7	29 10.9	31 11.6
75～79歳	294 100.0	71 24.1	78 26.5	78 26.5	32 10.9	35 11.9
80～84歳	265 100.0	70 26.4	66 24.9	65 24.5	31 11.7	33 12.5
85歳以上	169 100.0	40 23.7	41 24.3	40 23.7	22 13.0	26 15.4

性・年齢

男性 前期高齢者	255 100.0	61 23.9	61 23.9	67 26.3	34 13.3	32 12.5
後期高齢者	351 100.0	90 25.6	88 25.1	87 24.8	42 12.0	44 12.5
女性 前期高齢者	267 100.0	67 25.1	69 25.8	70 26.2	29 10.9	32 12.0
後期高齢者	377 100.0	91 24.1	97 25.7	96 25.5	43 11.4	50 13.3

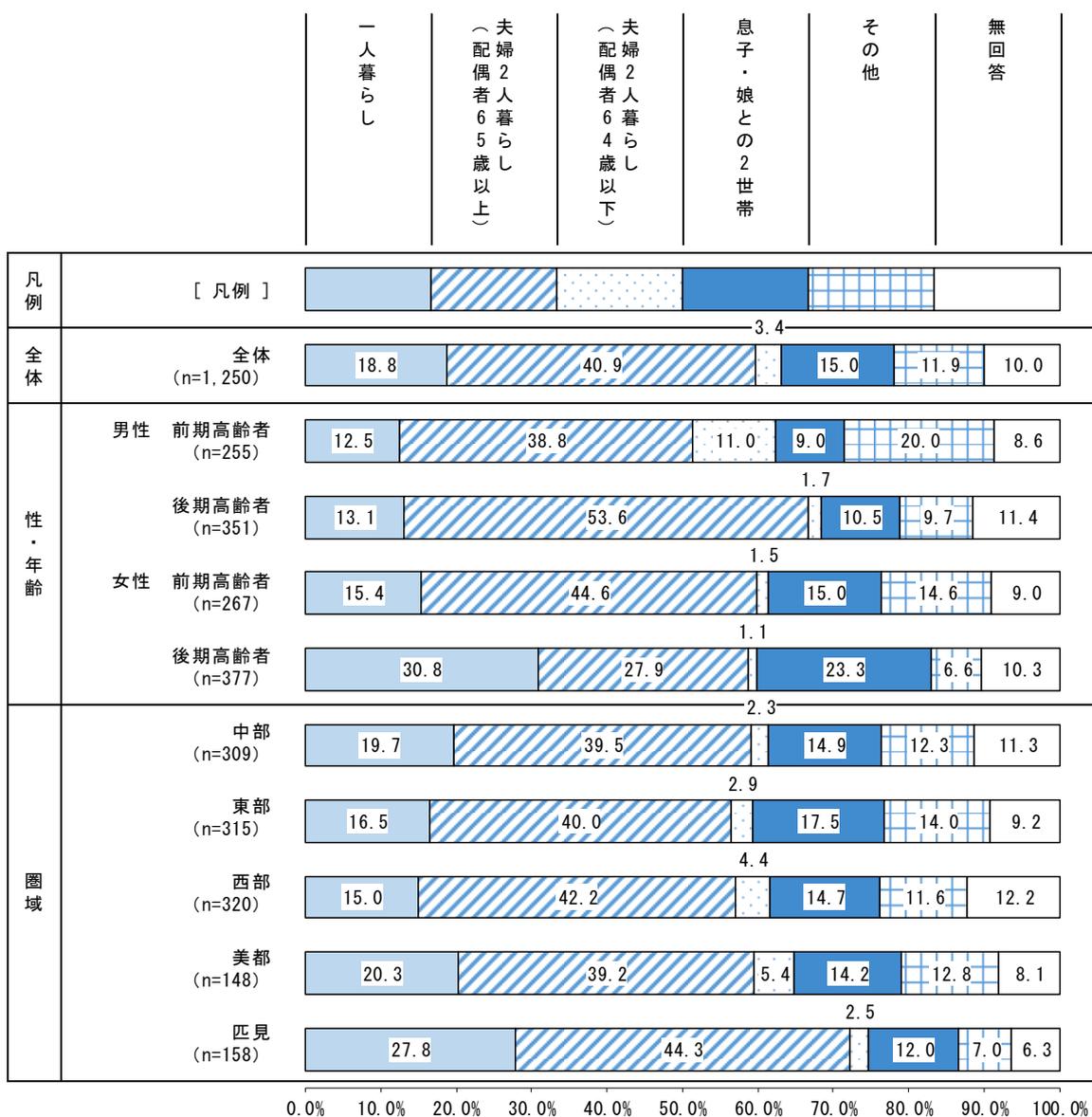
●問 1.1 家族構成をお教えてください

【全体】
 ○ 家族構成について、「夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 40.9%で最も多く、次いで「一人暮らし」が 18.8%、「息子・娘との 2 世帯」が 15.0%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「一人暮らし」は女性 後期高齢者が 30.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】
 ○ 「一人暮らし」は匹見が 27.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】



主な調査結果

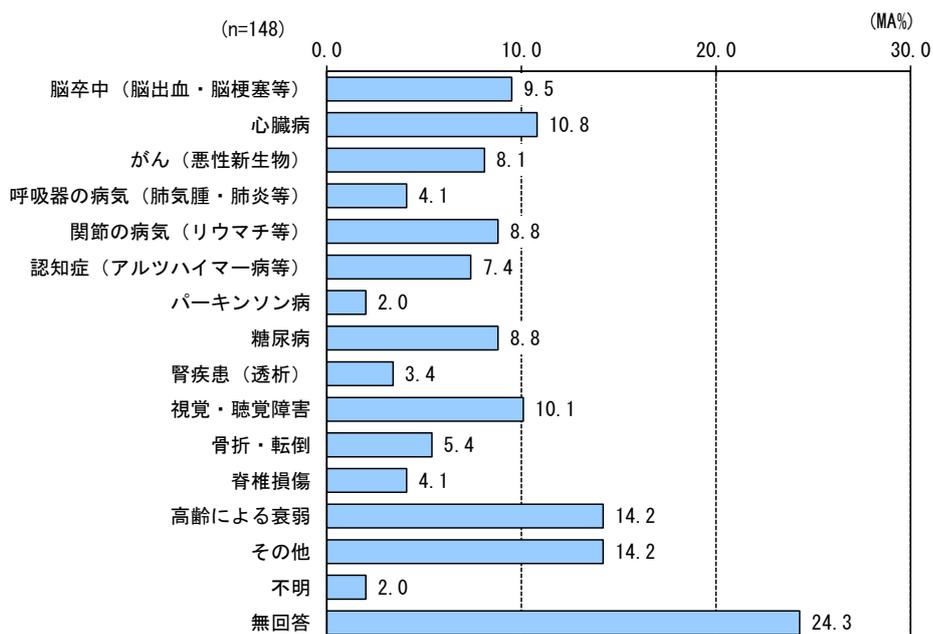
(1) 介護・介助が必要になった原因

●問 1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(いくつでも)

【全体】

- 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が 14.2%で最も多く、次いで「心臓病」が 10.8%、「視覚・聴覚障害」が 10.1%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因】



(2) 機能低下リスク(支援の必要度)

◆運動器の機能低下リスク

●運動器の機能低下リスクの判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／ やや不安である

【全体】

- 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が 14.8%、「非該当」が 85.2%となっています。

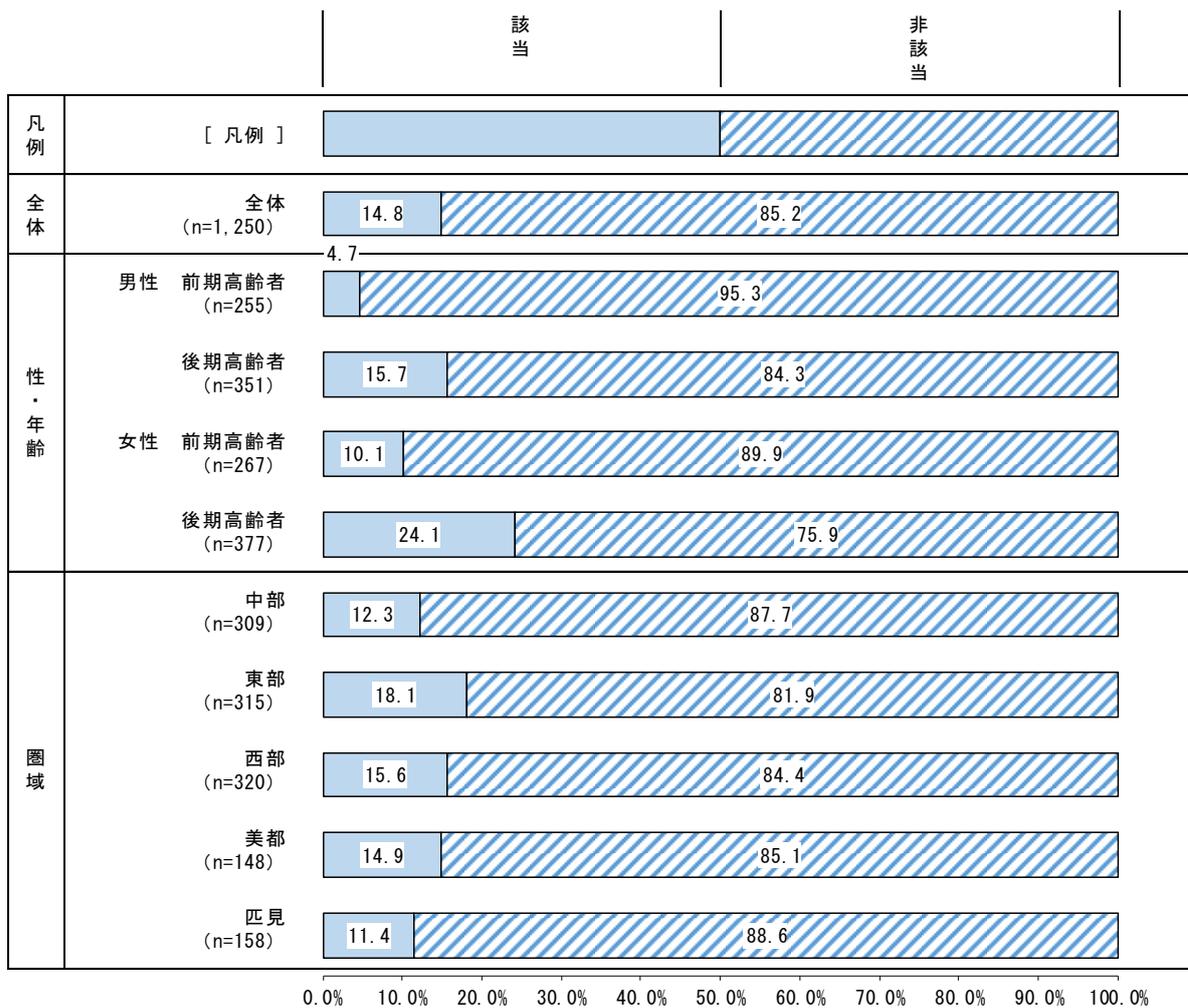
【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。

【圏域】

- 「該当」は東部が 18.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】



◆転倒リスク

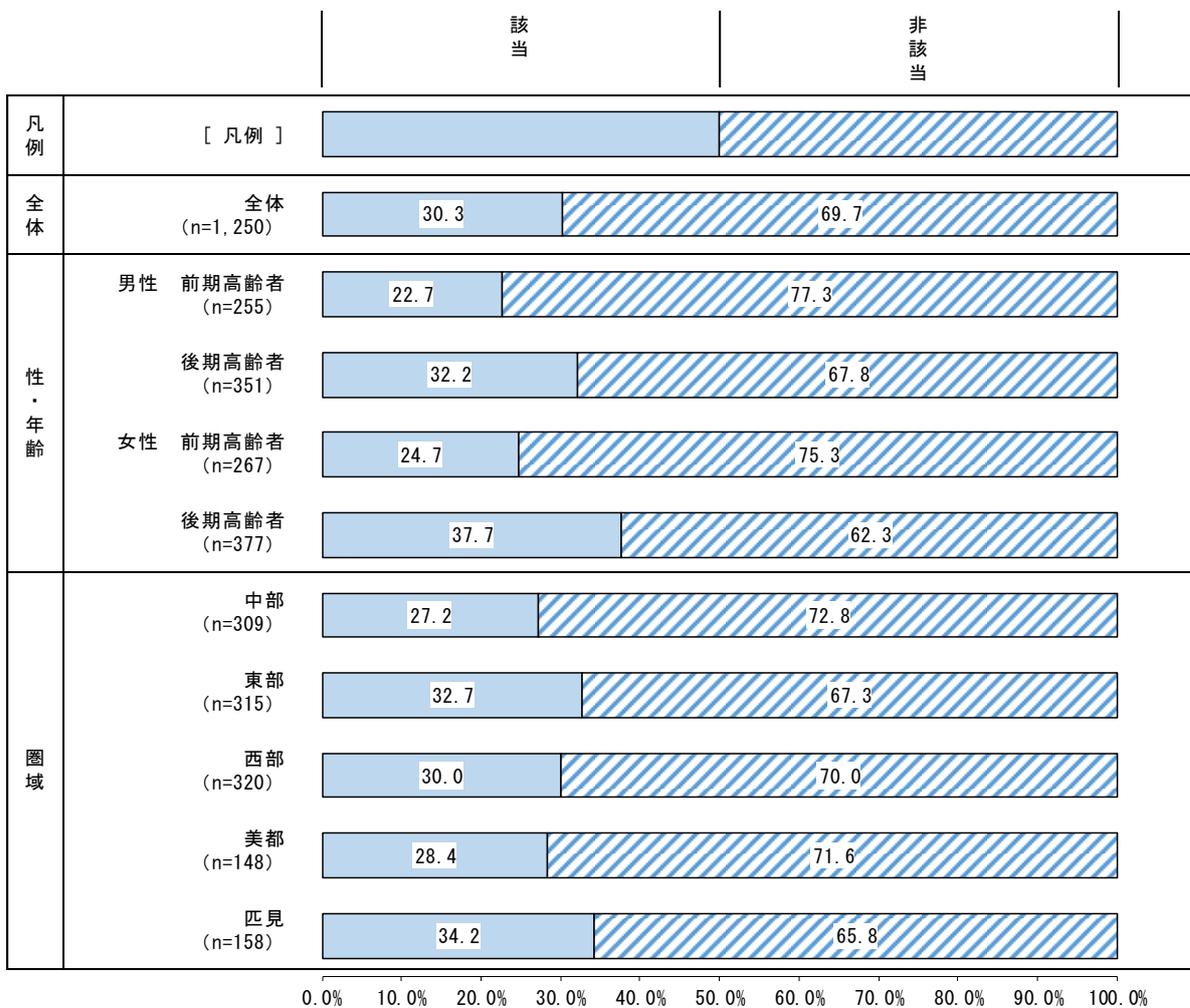
●転倒リスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

<p>【全体】</p> <p>○ 転倒リスクについて、「該当」が30.3%、「非該当」が69.7%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「該当」は東部が32.7%、匹見が34.2%と他の区分に比べて多くなっています。</p>

【転倒リスク】



◆閉じこもりのリスク

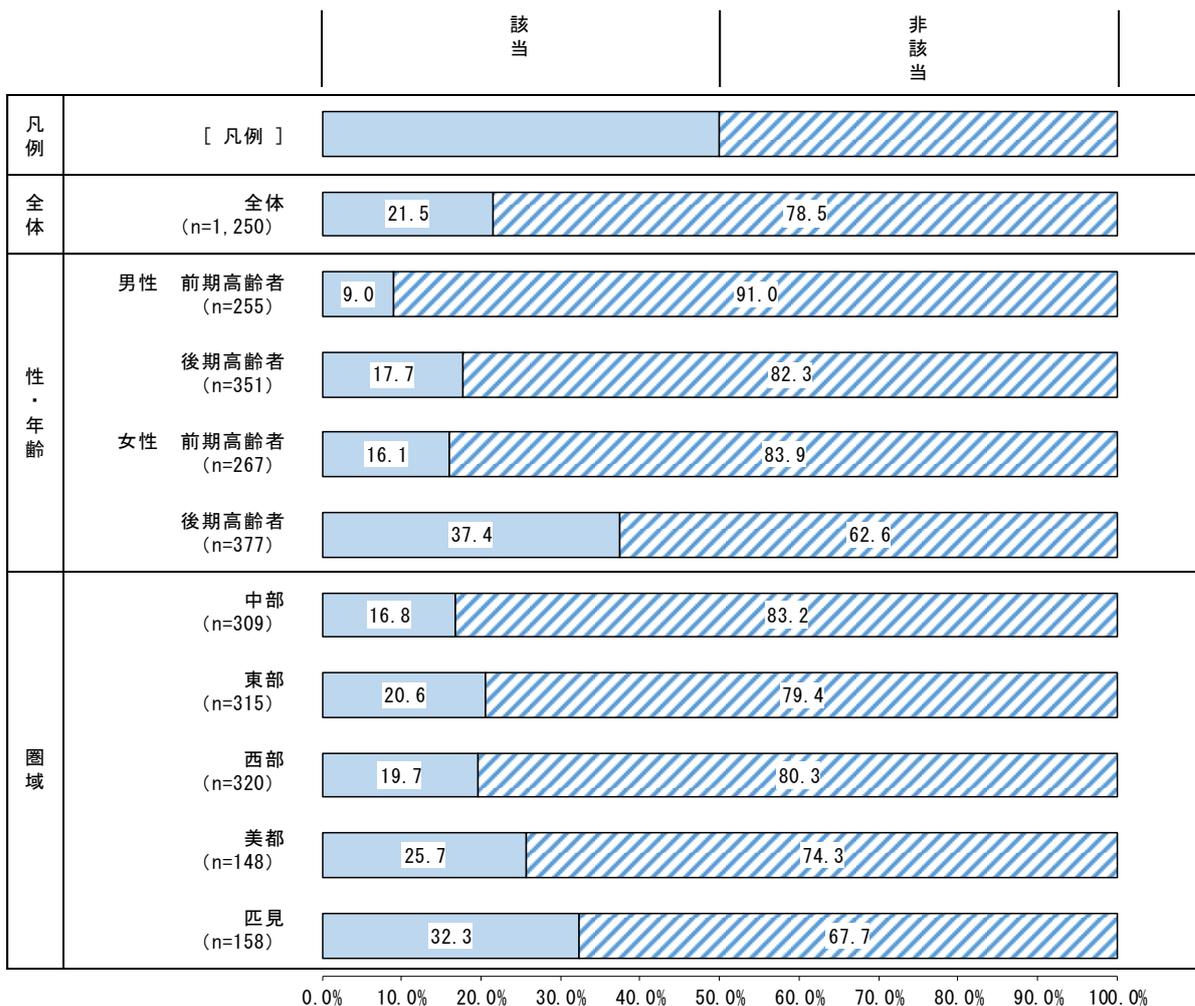
●閉じこもりのリスクの判定

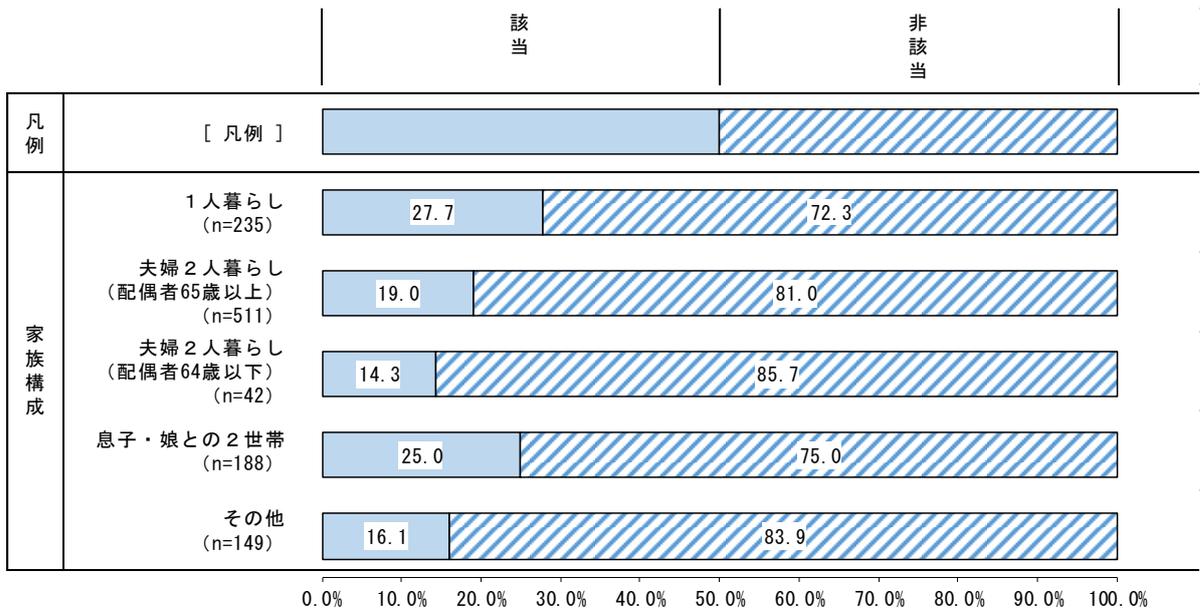
以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

<p>【全体】</p> <p>○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が21.5%、「非該当」が78.5%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 「該当」は女性 後期高齢者が37.4%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「該当」は匹見が32.3%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【家族構成】</p> <p>○ 「該当」は1人暮らしが27.7%、息子・娘との2世帯が25.0%と他の区分に比べて多くなっています。</p>

【閉じこもりのリスク】





◆口腔機能の低下リスク

●口腔機能の低下リスクの判定

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

【全体】

○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が 21.8%、「非該当」が 78.2%となっています。

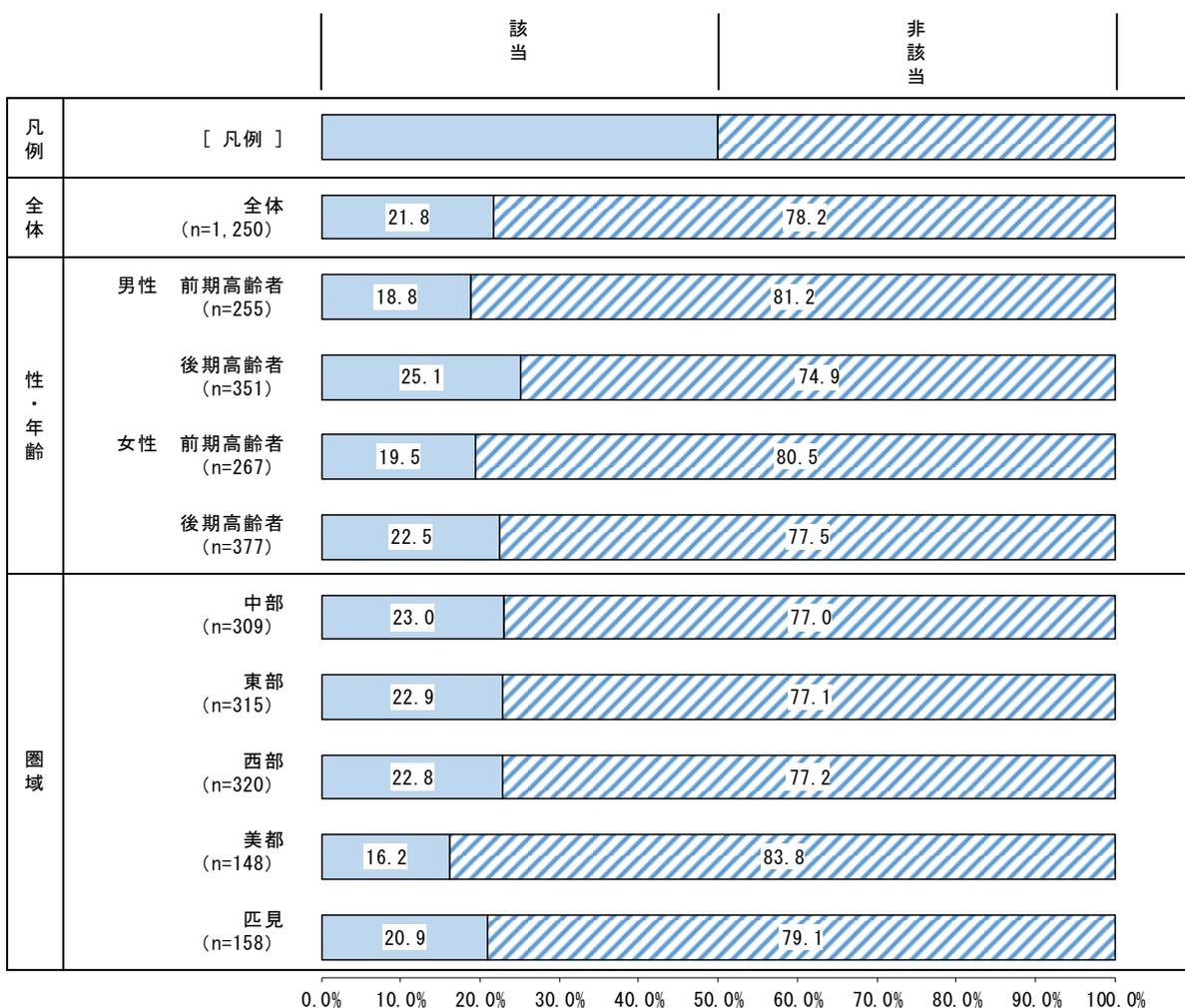
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【圏域】

○ 「非該当」は美都が 83.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【口腔機能の低下リスク】



◆栄養改善のリスク

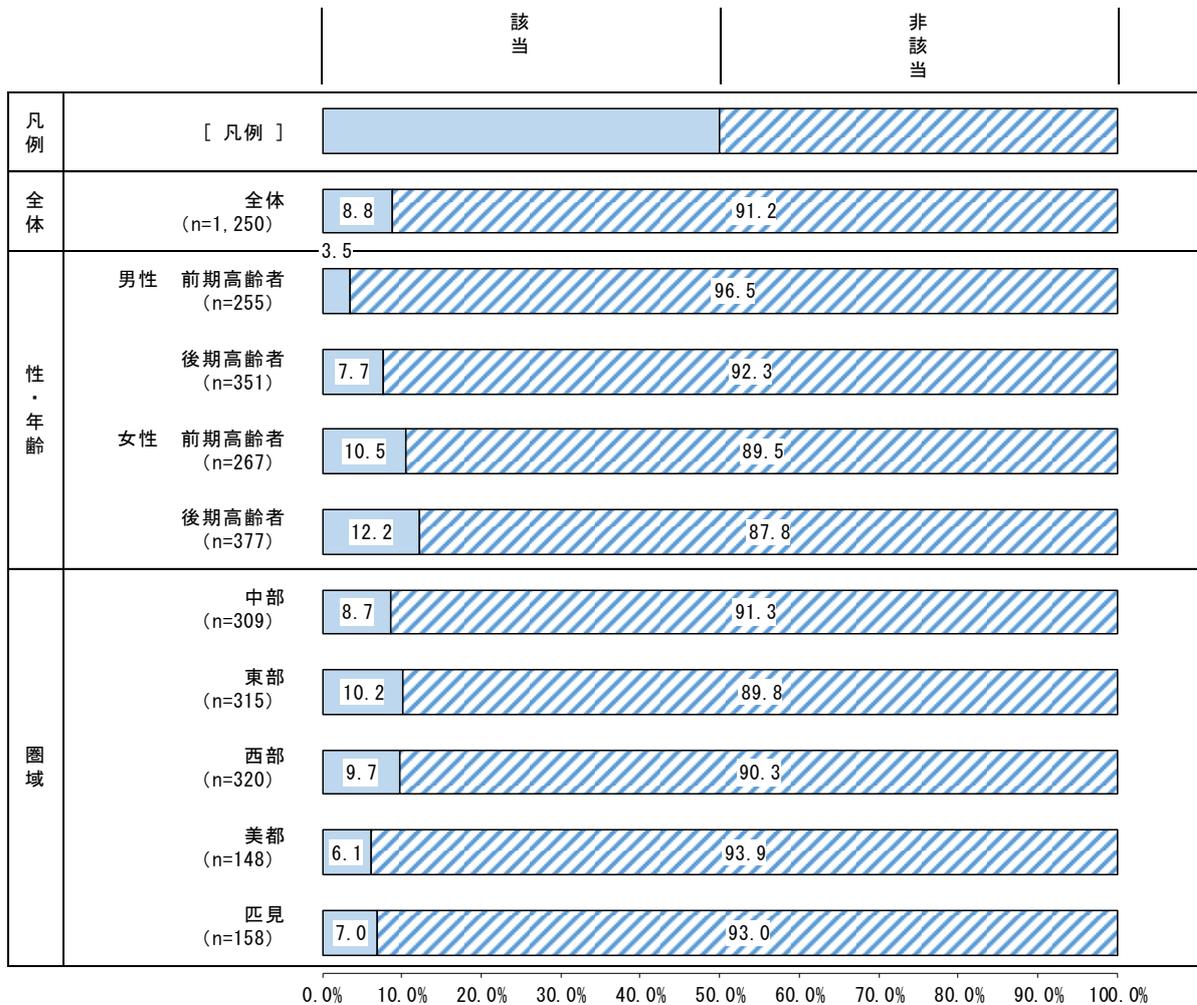
●栄養改善のリスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷身長(m) ²)	18.5未満

<p>【全体】</p> <p>○ 栄養改善のリスクについて、「該当」が 8.8%、「非該当」が 91.2%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「該当」は東部が 10.2%、西部が 9.7%と他の区分に比べて多くなっています。</p>
--

【栄養改善のリスク】



◆低栄養のリスク

●低栄養のリスクの判定

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷身長(m) ²)	18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.4%、「非該当」が98.6%となっています。

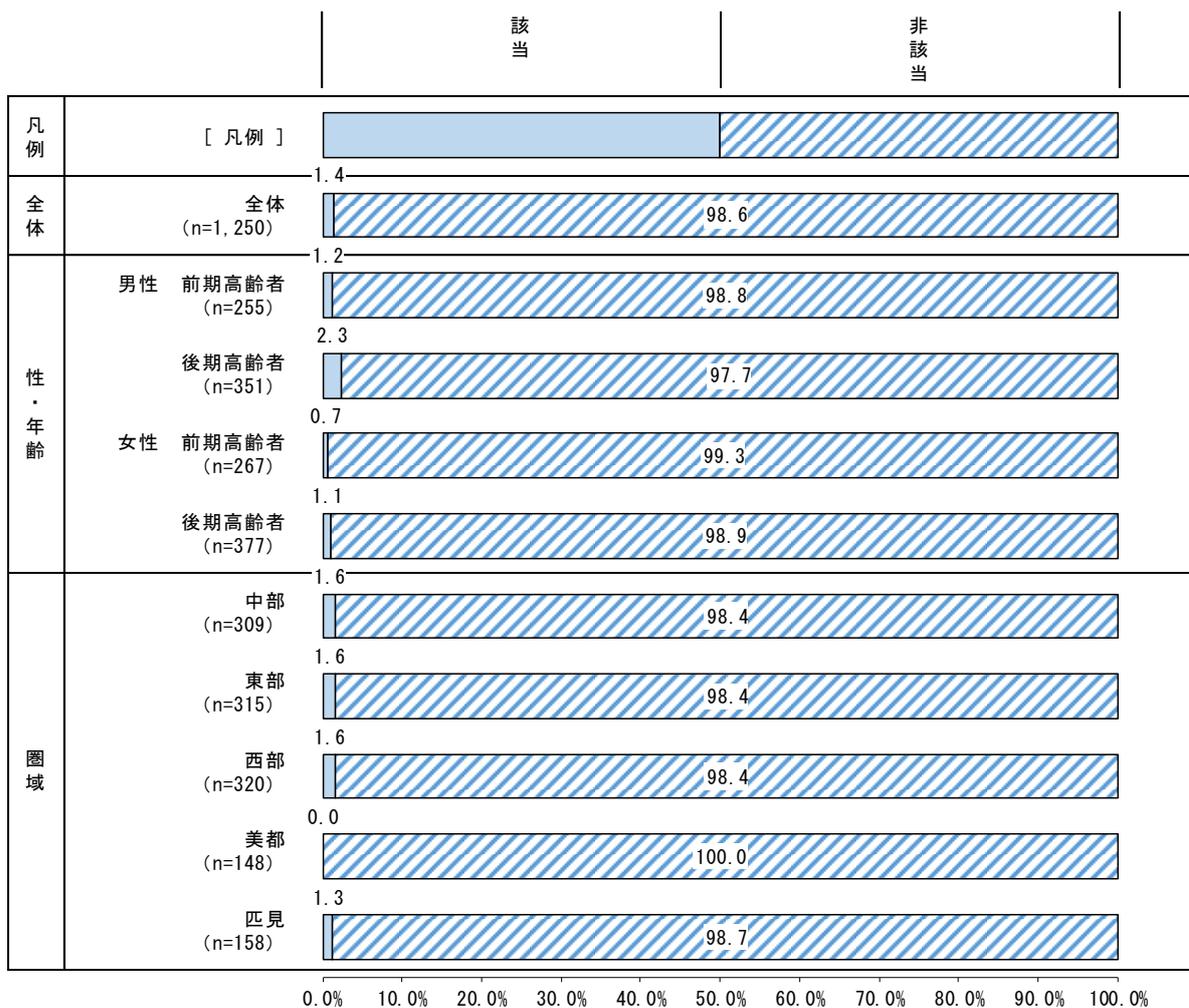
【性・年齢】

○ 「該当」は男性 後期高齢者が2.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

○ 「該当」は中部が1.6%、東部が1.6%、西部が1.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【低栄養のリスク】



◆認知機能の低下リスク

●認知機能の低下リスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

【全体】

○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が46.2%、「非該当」が53.8%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

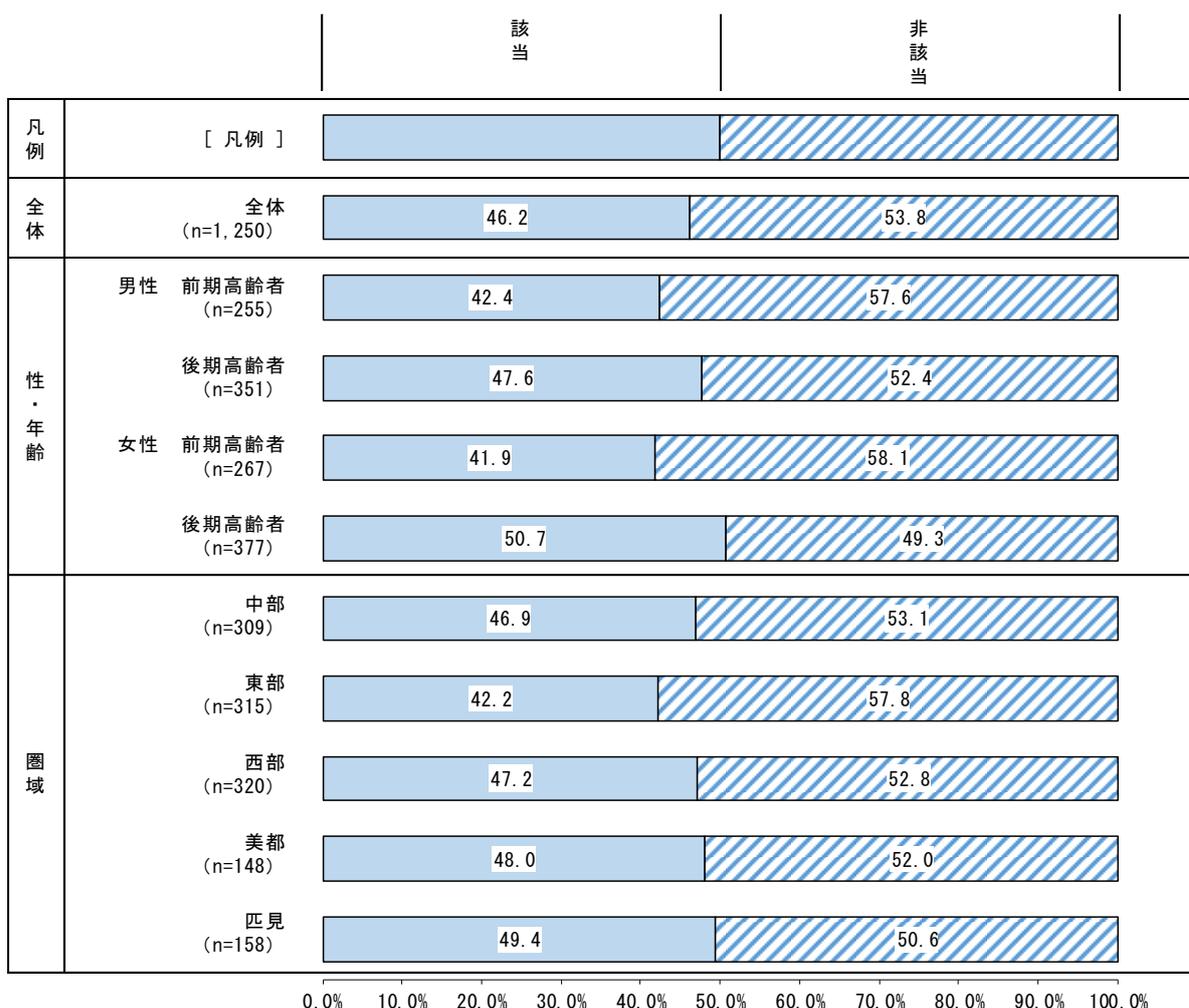
【圏域】

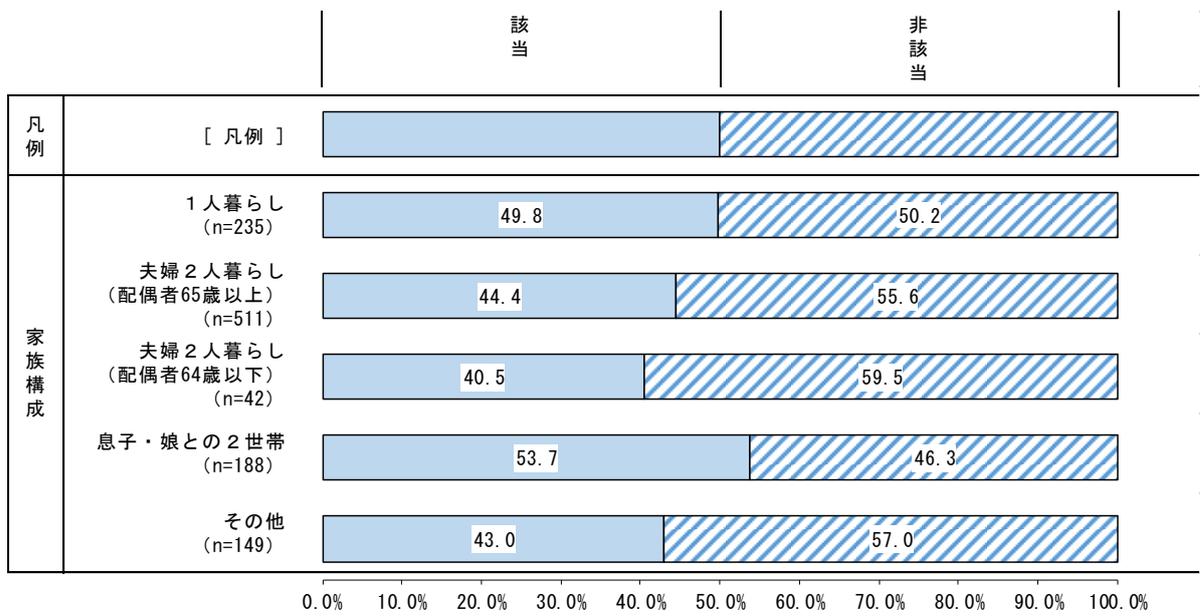
○ 「非該当」は東部が57.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】

○ 「該当」は1人暮らしが49.8%、息子・娘との2世帯が53.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知機能の低下リスク】





◆手段的自立度(IADL)

●手段的自立度(IADL)の判定

以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

設問	選択肢	配点
バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

※手段的自立度(IADL)とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

【全体】

- IADL について、「5点(高い)」が 83.0%で最も多く、次いで「4点(やや低い)」が 6.5%、「3点以下(低い)」が 4.3%となっています。

【性・年齢】

- 「5点(高い)」は女性 前期高齢者が 92.1%と他の区分に比べて多くなっています。

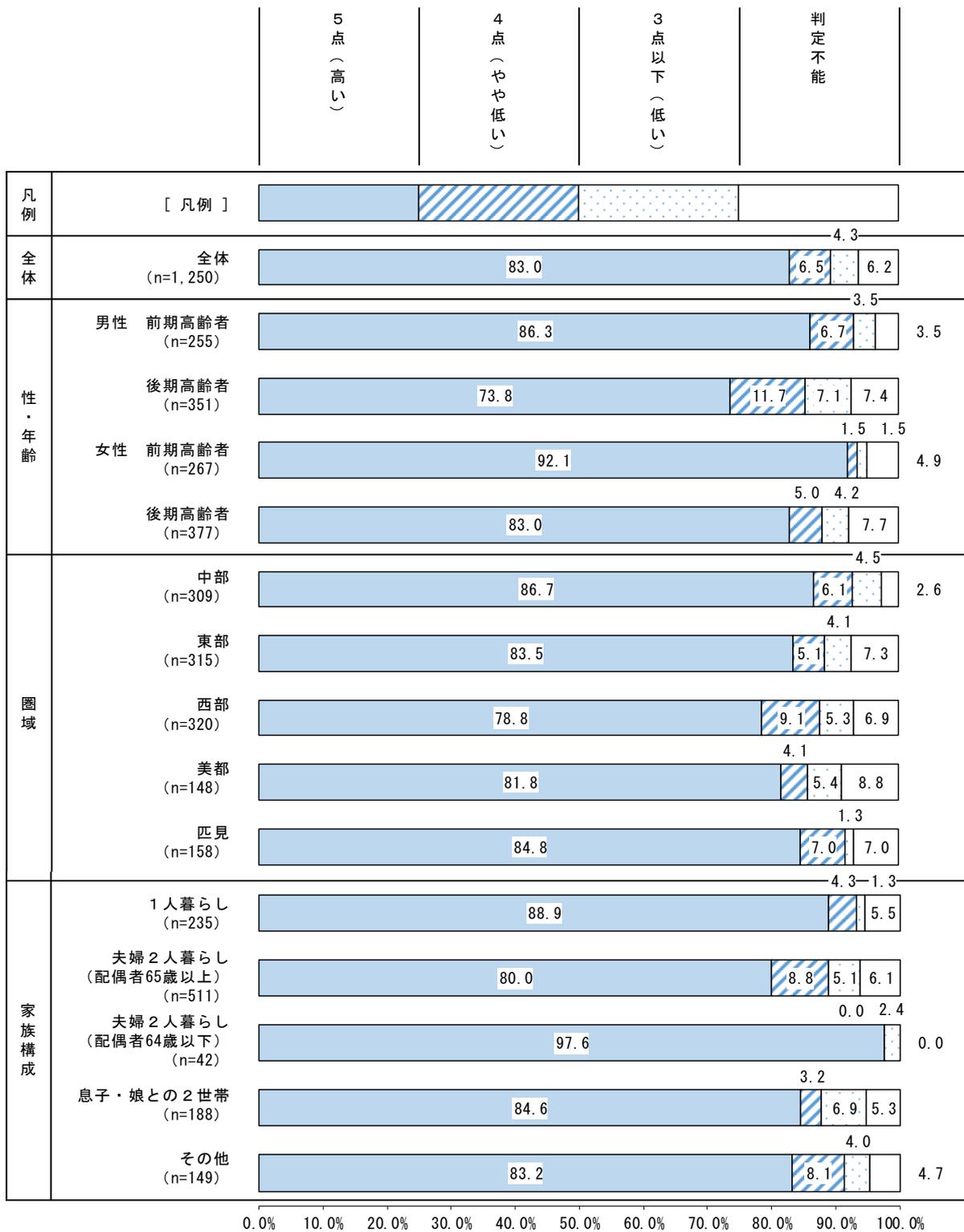
【圏域】

- 「5点(高い)」は中部が 86.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 「5点(高い)」は夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下)が 97.6%と他の区分に比べて多くなっています。

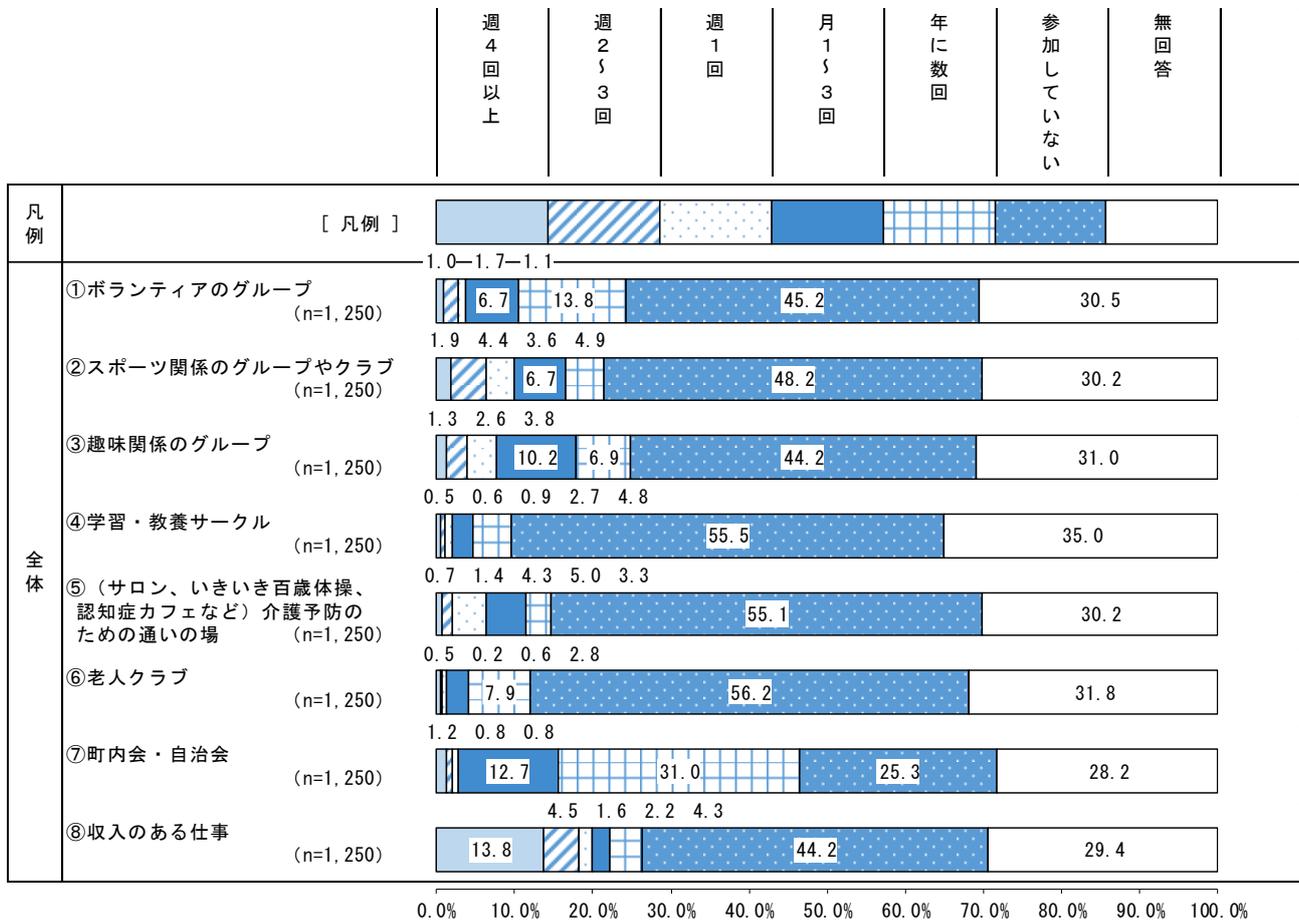
【手段的自立度(IADL)】



●問 5.1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください

【会・グループ等への参加頻度(全体)】



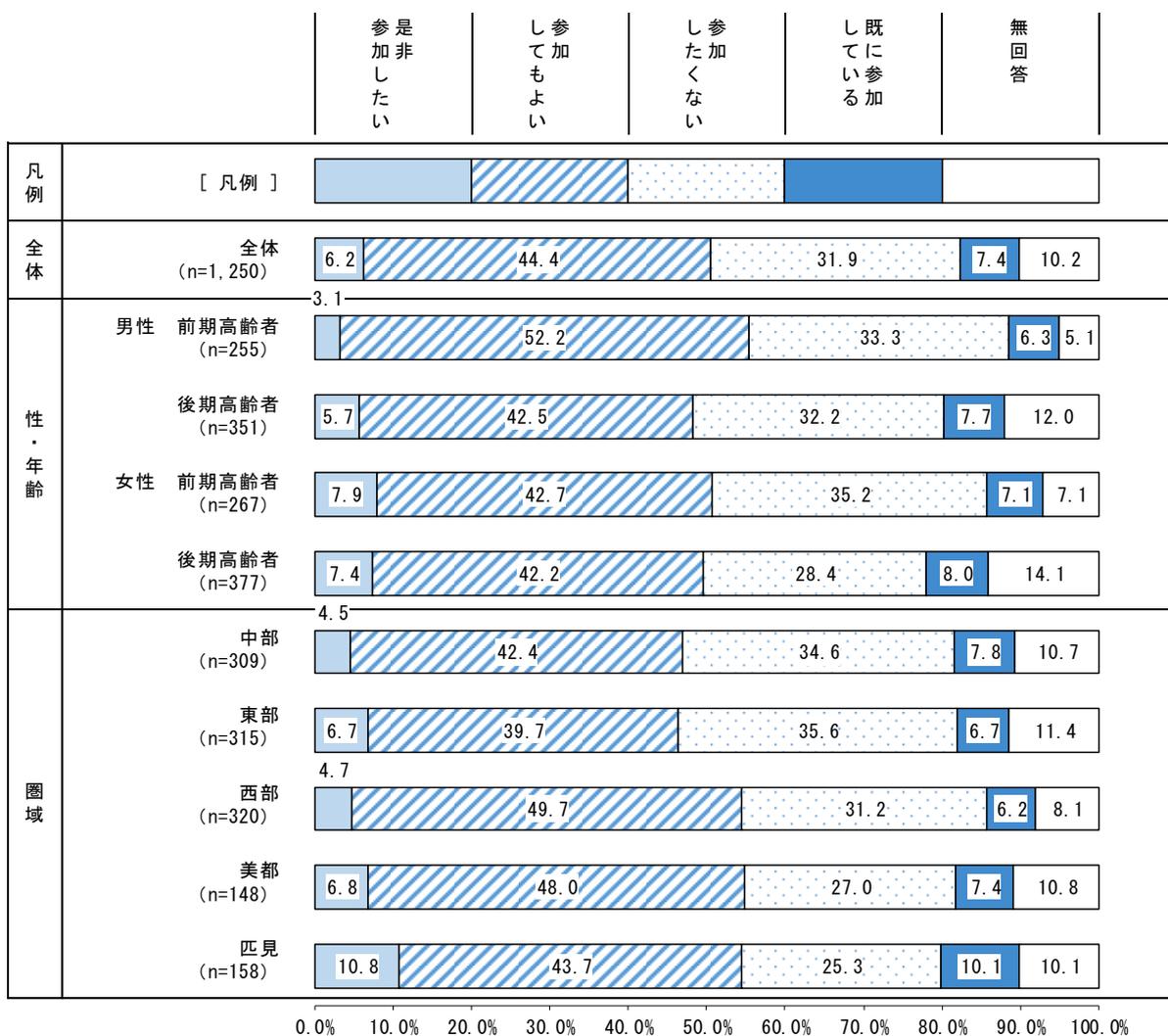
●問 5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

【全体】
 ○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が 44.4%で最も多く、次いで「参加したくない」が 31.9%、「既に参加している」が 7.4%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は 50.6%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「参加してもよい」は男性 前期高齢者が 52.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】
 ○ 「是非参加したい」は匹見が 10.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



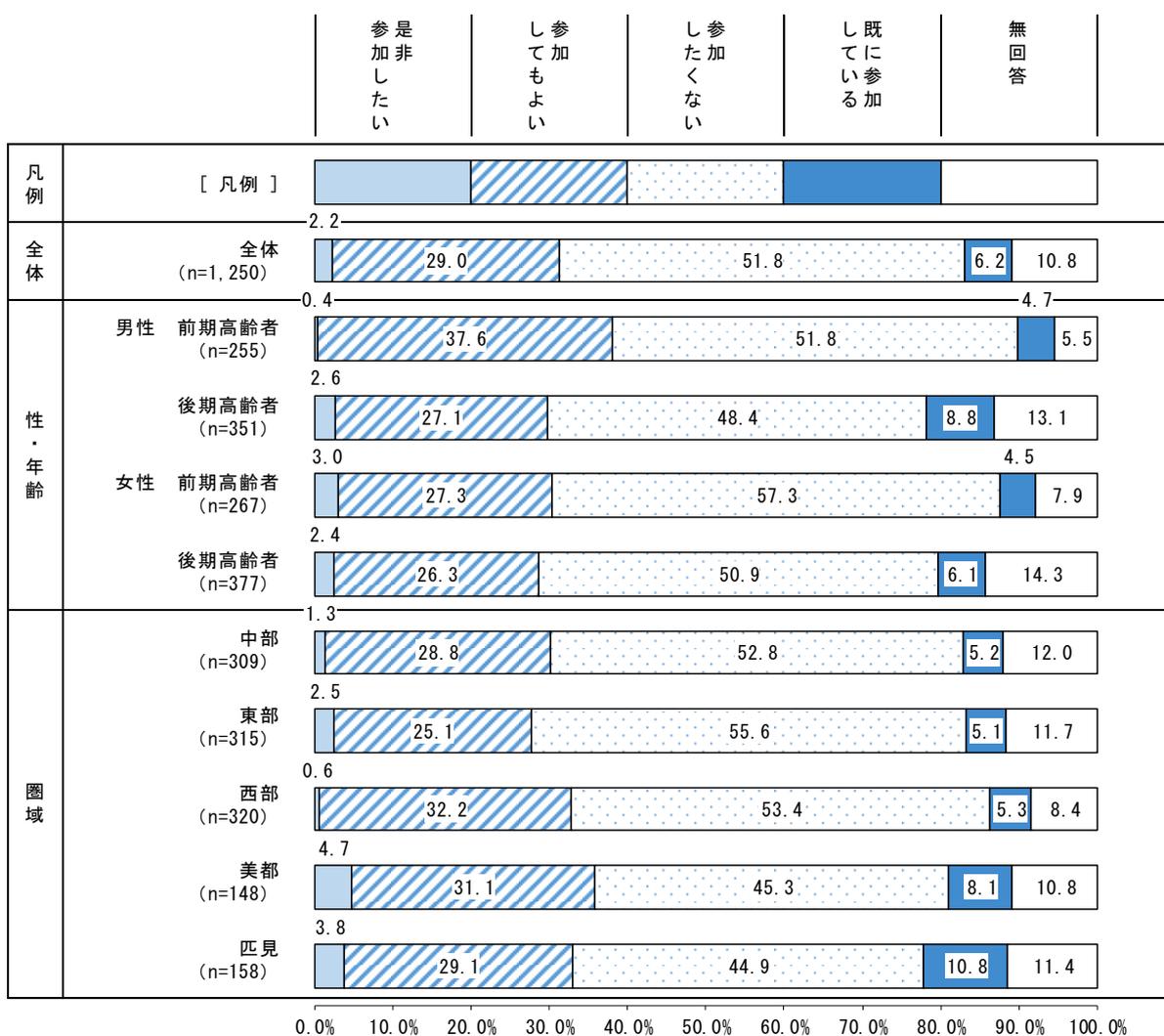
●問 5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

【全体】
 ○ 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が 51.8%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 29.0%、「既に参加している」が 6.2%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は 31.2%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「参加してもよい」は男性 前期高齢者が 37.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】
 ○ 「是非参加したい」は美都が 4.7%、匹見が 3.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】



(3) 家族や友人・知人以外の相談相手

●問 6.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください(いくつでも)

【全体】

- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が 29.4%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 29.0%、「社会福祉協議会・民生委員」が 18.6%となっています。

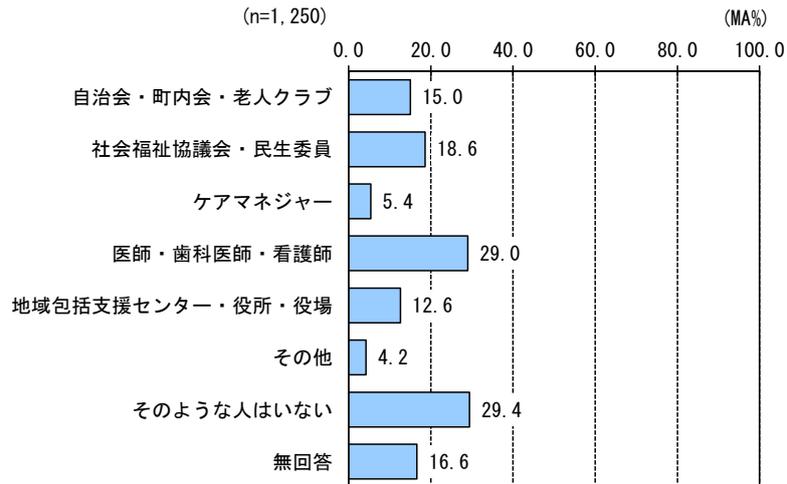
【性・年齢】

- 「社会福祉協議会・民生委員」は女性 後期高齢者が 26.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。

【圏域】

- 「社会福祉協議会・民生委員」は美都が 24.3%、匹見が 25.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「地域包括支援センター・役所・役場」は美都が 20.3%、匹見が 18.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【何かあったときの相談相手】



単位：%

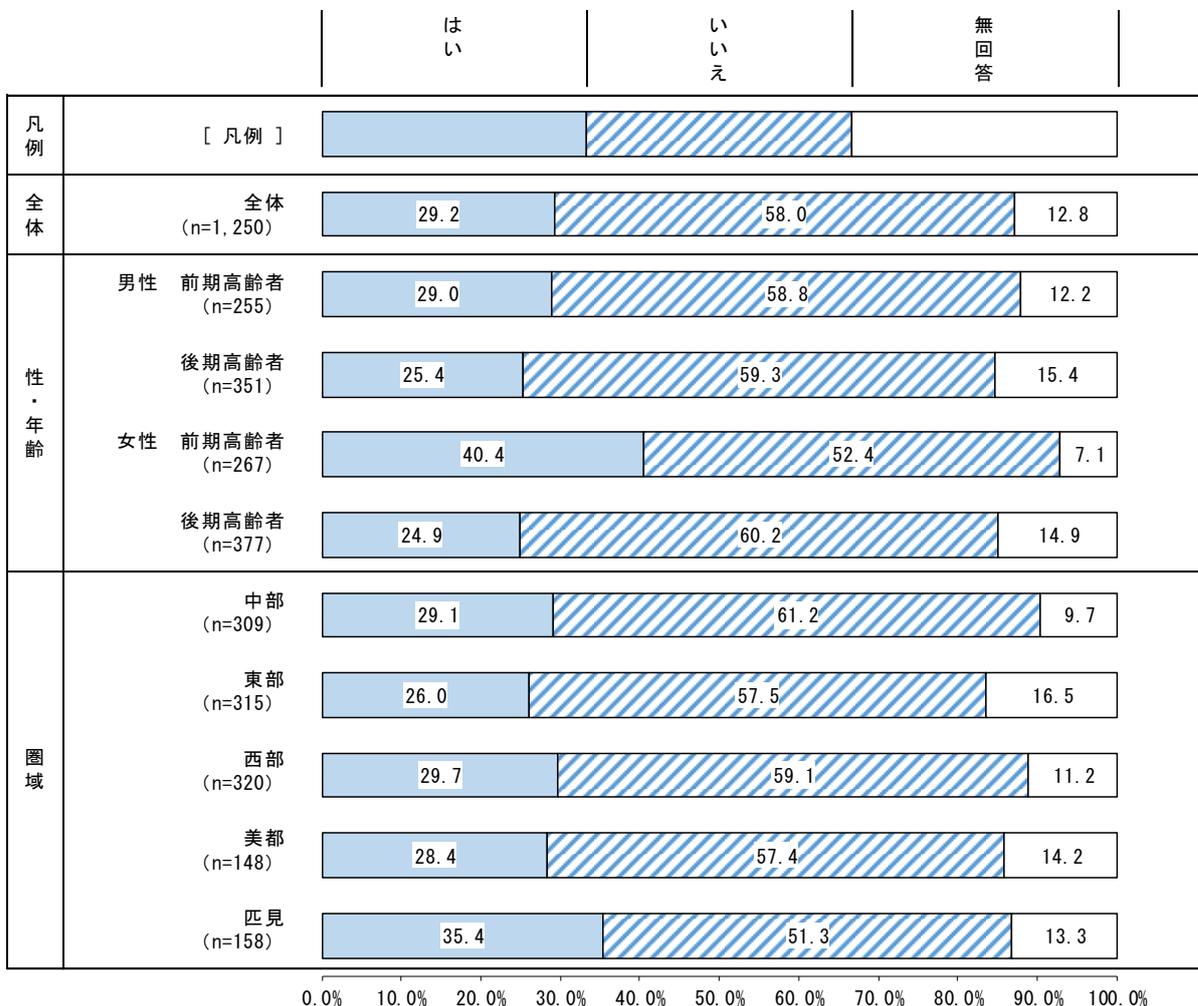
	母数 (n)	何かあったときの相談相手 (MA)								
		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	看護師・医師・歯科医師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	いないような人はいない	無回答	
全体	1250	15.0	18.6	5.4	29.0	12.6	4.2	29.4	16.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	255	16.9	13.3	5.5	23.5	10.2	7.5	35.3	13.3
	後期高齢者	351	19.7	18.5	4.6	32.8	13.7	3.4	27.1	14.8
	女性 前期高齢者	267	10.5	13.5	4.1	30.7	10.9	5.2	35.2	14.6
	後期高齢者	377	12.7	26.0	6.9	27.9	14.3	2.1	23.6	22.0
圏域	中部	309	15.5	16.8	4.5	29.1	12.0	2.9	33.3	17.2
	東部	315	15.2	13.7	4.8	30.8	9.5	5.7	29.8	14.3
	西部	320	13.8	19.1	6.2	26.9	9.7	3.8	31.6	17.2
	美都	148	12.8	24.3	6.8	25.7	20.3	5.4	23.6	18.2
	匹見	158	18.4	25.9	5.1	32.3	18.4	3.8	22.2	17.7

(4) 認知症にかかる相談窓口の把握について

●問 8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか

【全体】
○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が 29.2%、「いいえ」が 58.0%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は女性 前期高齢者が 40.4%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「はい」は匹見が 35.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】

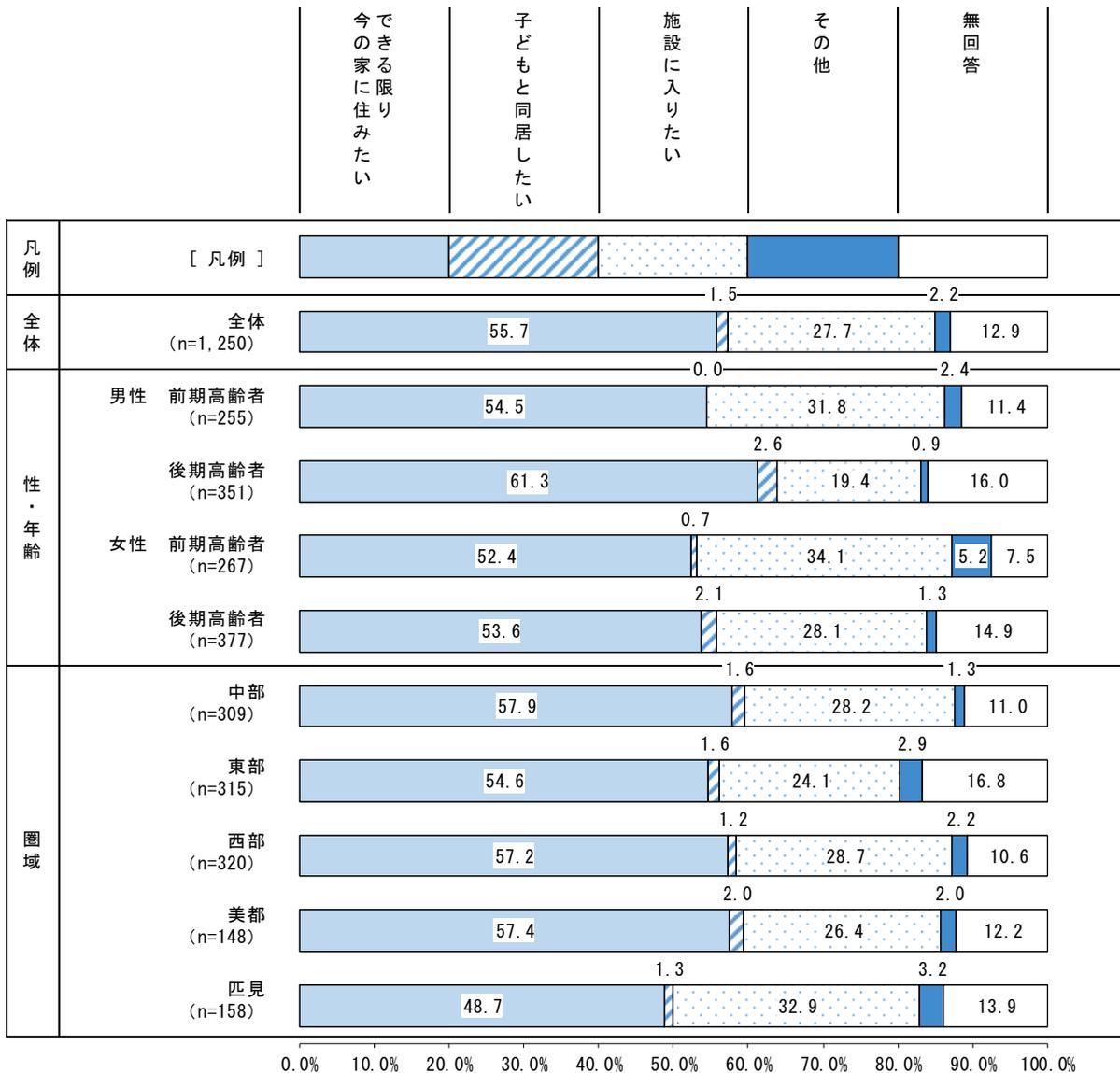


(5) 将来の生活について

●問 9.1 あなたは、介護が必要となった時、どこで過ごしたいですか

<p>【全体】</p> <p>○ 介護が必要になった時に、過ごしたい場所について、「できる限り今の家に住みたい」が 55.7%で最も多く、次いで「施設に入りたい」が 27.7%、「子どもと同居したい」が 1.5% となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 「できる限り今の家に住みたい」は男性 後期高齢者が 61.3%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「施設に入りたい」は匹見が 32.9%と他の区分に比べて多くなっています。</p>

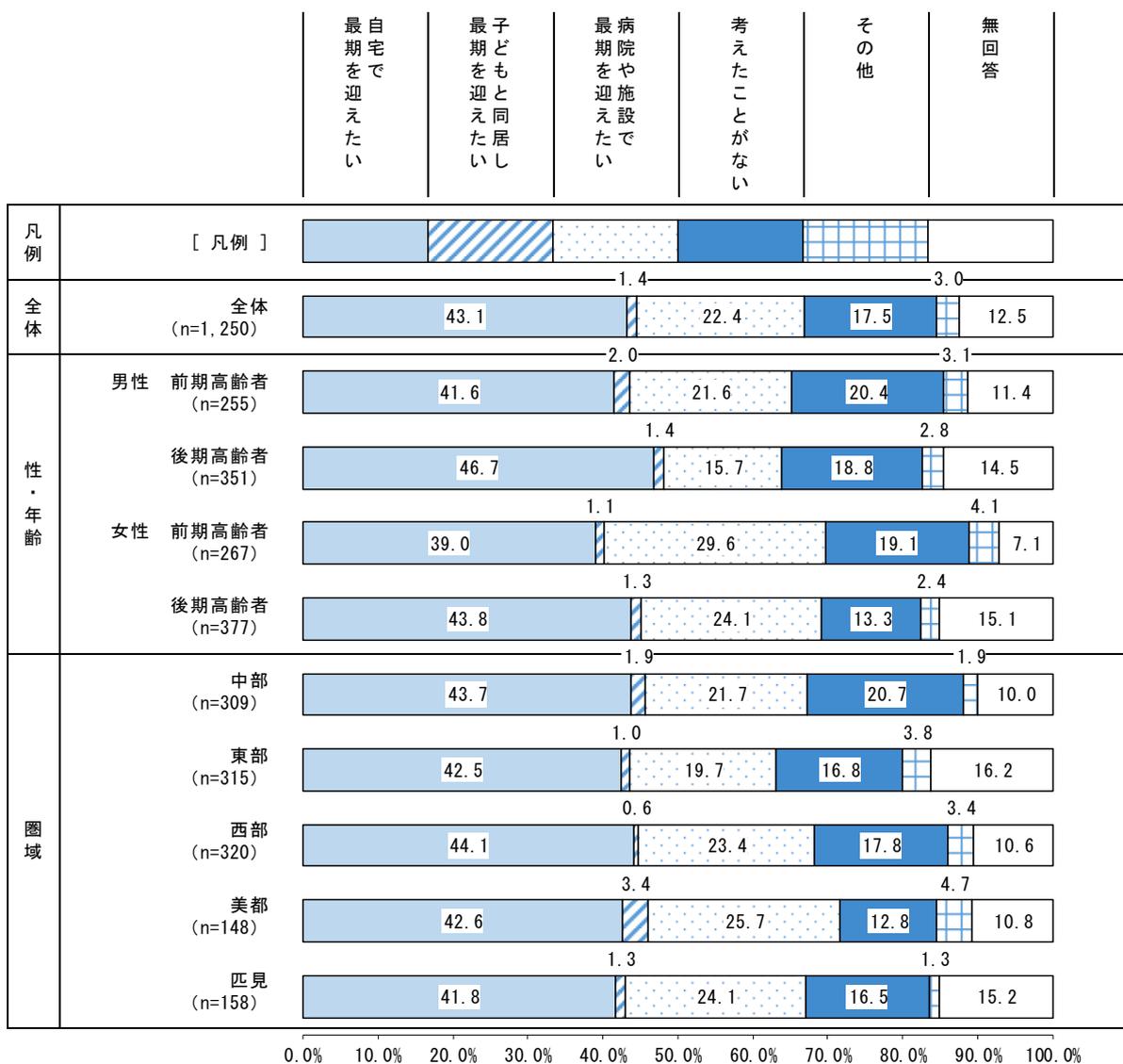
【要介護時、どこで過ごしたいか】



●問 9.2 あなたは、将来どこで最期を迎えたいかについてどう考えていますか

- 【全体】
- 将来どこで最期を迎えたいかについて、「自宅で最期を迎えたい」が 43.1%で最も多く、次いで「病院や施設で最期を迎えたい」が 22.4%、「考えたことがない」が 17.5%となっています。
- 【性・年齢】
- 「病院や施設で最期を迎えたい」は女性 前期高齢者が 29.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【圏域】
- 「病院や施設で最期を迎えたい」は美都が 25.7%、匹見が 24.1%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「考えたことがない」は中部が 20.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【最期を迎えたい場所】



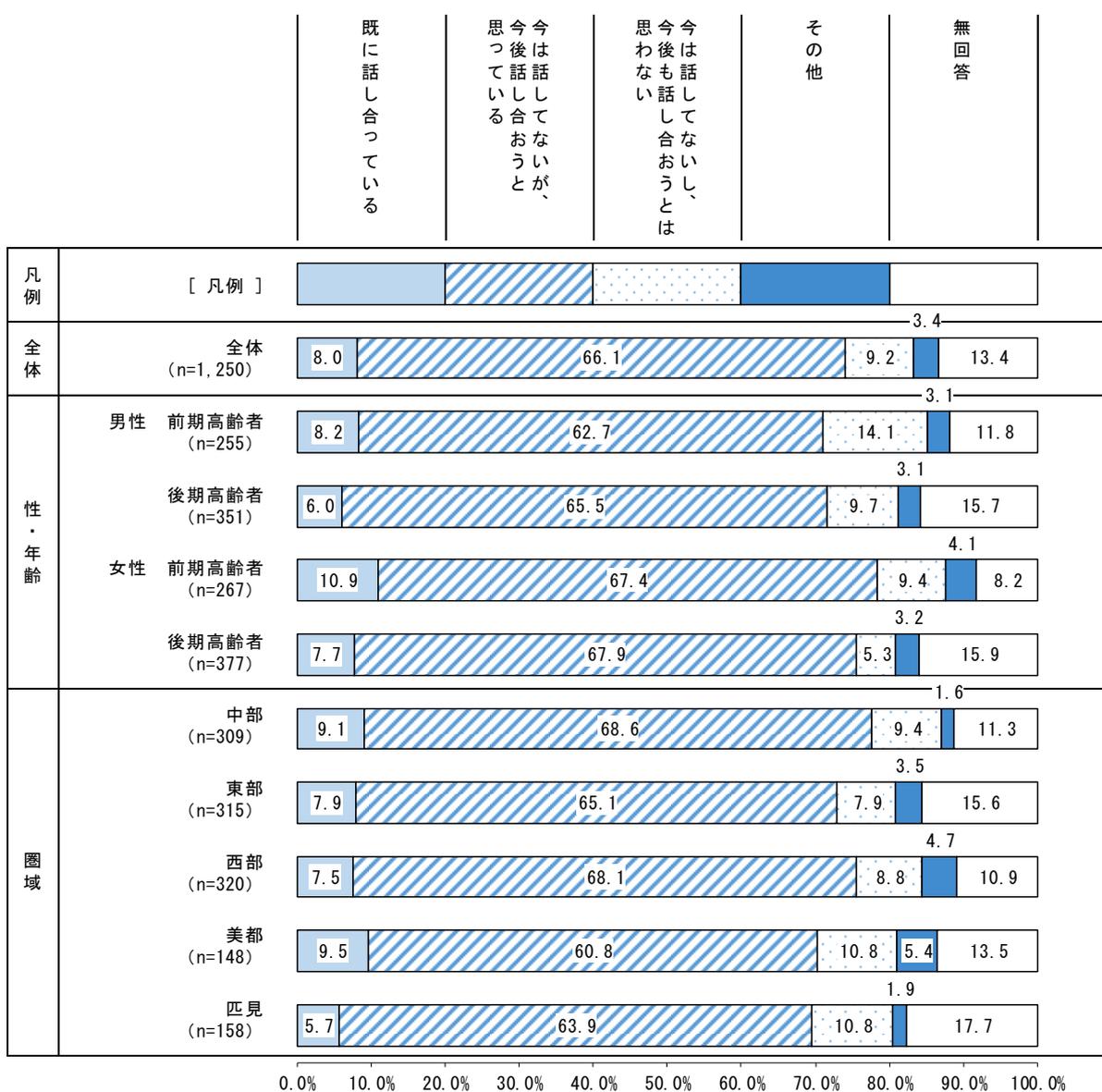
●問 9.3 あなたは将来の生活や療養について、家族や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。また話し合おうと思いますか

【全体】
 ○ 将来の生活や療養について話し合ったことがあるかについて、「今は話していないが、今後話し合おうと思っている」が 66.1%で最も多く、次いで「今は話していないし、今後も話し合おうとは思わない」が 9.2%、「既に話し合っている」が 8.0%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「今は話していないし、今後も話し合おうとは思わない」は男性 前期高齢者が 14.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】
 ○ 「既に話し合っている」は中部が 9.1%、美都が 9.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【将来についての話し合い】

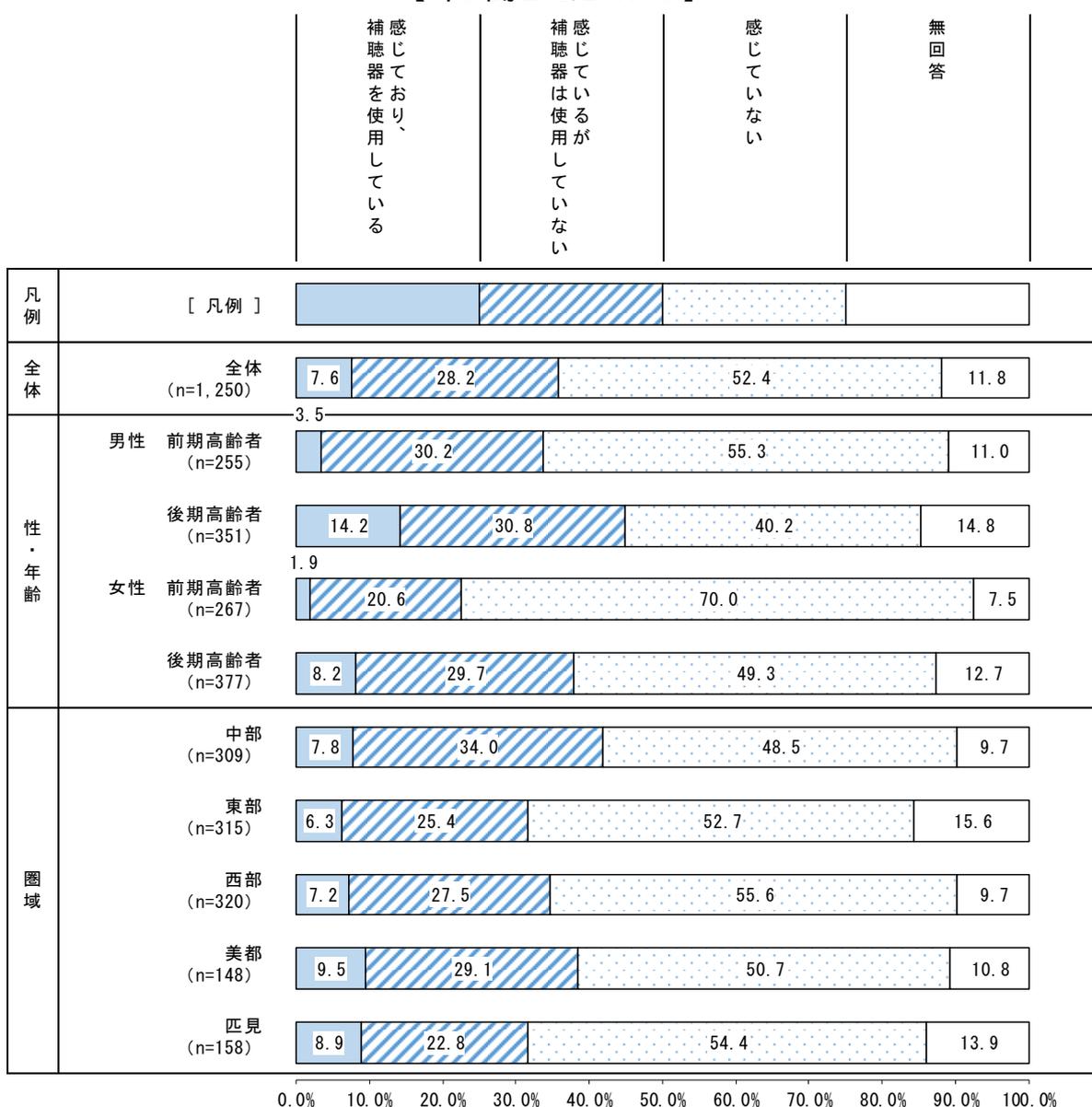


(6) 聴力について

●問 9.4 あなたは、日常生活において耳の聞こえにくさを感じていますか

【全体】
○ 日常生活において耳の聞こえにくさを感じているかについて、「感じていない」が 52.4%で最も多く、次いで「感じているが補聴器は使用していない」が 28.2%、「感じており、補聴器を使用している」が 7.6%となっています。
【性・年齢】
○ 「感じており、補聴器を使用している」は男性 後期高齢者が 14.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「感じていない」は女性 前期高齢者が 70.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「感じているが補聴器は使用していない」は中部が 34.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【耳が聞こえにくい】



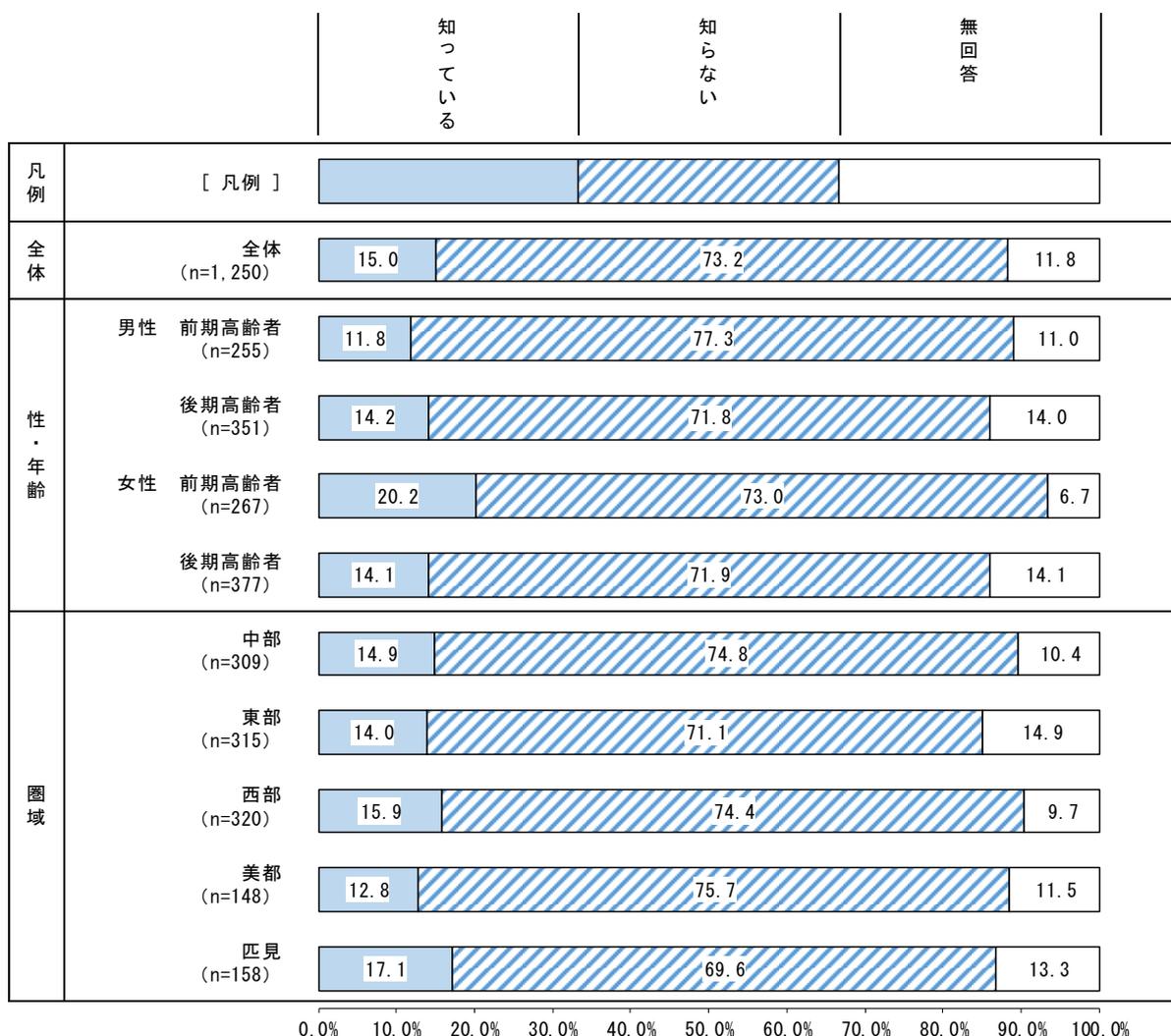
●問 9.5 益田市には、高齢者補聴器購入費助成事業(中等度の難聴の高齢者に対して、補聴器の購入費を助成する事業)があることを知っていますか

【全体】
 ○ 高齢者補聴器購入費助成事業の周知状況について、「知っている」が 15.0%、「知らない」が 73.2%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「知っている」は女性 前期高齢者が 20.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】
 ○ 「知っている」は匹見が 17.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【高齢者補聴器購入費助成事業の周知】

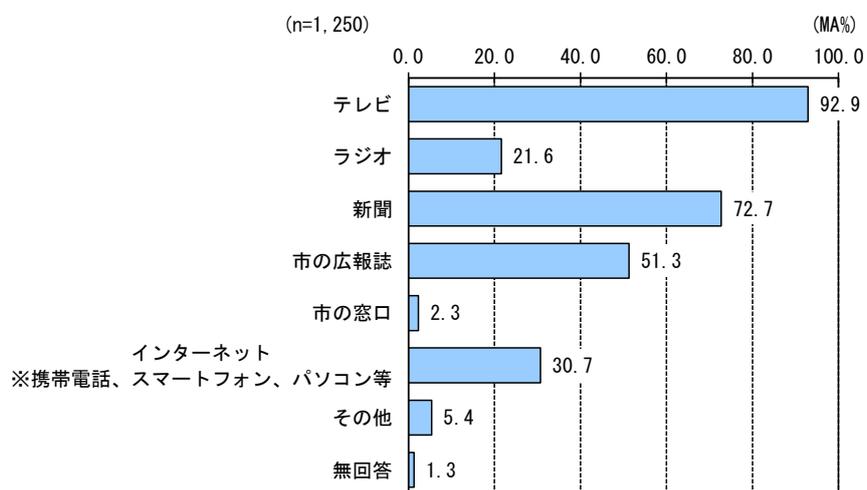


(7) 情報の入手・利用について

●問 9.6 日常生活において、あなたにとって必要な情報は、どこから入手していますか(いくつでも)

- 【全体】
- 日常生活において、必要な情報の入手方法について、「テレビ」が 92.9%で最も多く、次いで「新聞」が 72.7%、「市の広報誌」が 51.3%となっています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「インターネット ※携帯電話、スマートフォン、パソコン等」が多くなっています。
- 【圏域】
- 「インターネット ※携帯電話、スマートフォン、パソコン等」は中部が 38.2%、西部が 32.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【必要な情報の入手方法】



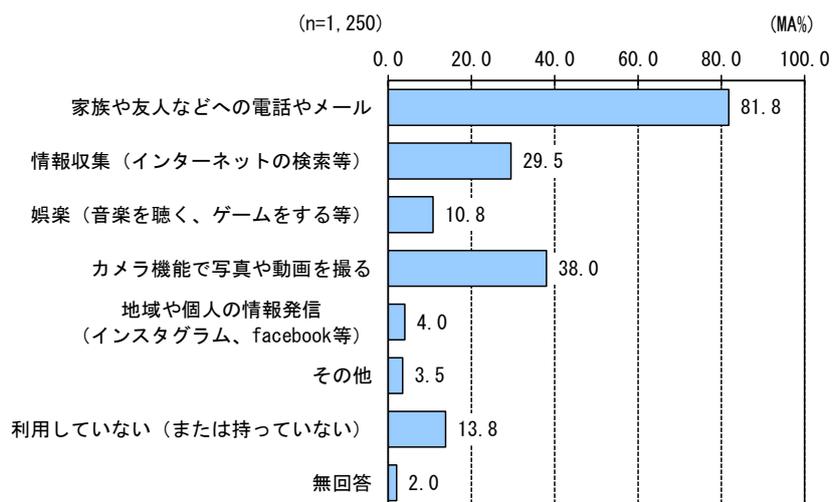
単位：%

		母数 (n)	日常生活において、必要な情報の入手方法 (MA)							
			テレビ	ラジオ	新聞	市の 広報誌	市の 窓口	※イン ターネ ット 携帯電 話、ス mart フォ ン、 パソ コン 等	その 他	無 回 答
	全体	1250	92.9	21.6	72.7	51.3	2.3	30.7	5.4	1.3
性・年齢	男性 前期高齢者	255	91.8	22.7	72.5	42.7	2.0	△ 53.3	1.6	0.4
	後期高齢者	351	92.9	21.7	74.6	49.6	1.4	▼ 19.9	5.1	1.4
	女性 前期高齢者	267	94.8	19.1	71.5	56.6	3.0	△ 49.8	4.5	-
	後期高齢者	377	92.3	22.5	71.9	54.9	2.9	▼ 11.9	8.8	2.7
圏域	中部	309	92.9	24.3	74.8	51.5	-	38.2	6.1	0.3
	東部	315	90.2	26.3	74.9	52.1	2.2	27.0	5.7	1.9
	西部	320	94.1	18.4	73.1	47.2	2.8	32.8	3.8	2.2
	美都	148	94.6	▼ 9.5	71.6	58.1	4.7	23.0	6.8	1.4
	匹見	158	94.3	24.7	64.6	51.3	3.8	26.6	5.1	-

●問 9.7 あなたは、携帯電話やスマートフォンを、どのような用途で利用していますか(いくつでも)

- 【全体】
- 携帯電話やスマートフォンの用途について、「家族や友人などへの電話やメール」が 81.8%で最も多く、次いで「カメラ機能で写真や動画を撮る」が 38.0%、「情報収集(インターネットの検索等)」が 29.5%となっています。
- 【性・年齢】
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「カメラ機能で写真や動画を撮る」が多くなっています。
 - 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「利用していない(または持っていない)」が多くなっています。
- 【圏域】
- 「家族や友人などへの電話やメール」は匹見が 88.0%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「情報収集(インターネットの検索等)」は中部が 36.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【携帯電話やスマートフォンの利用用途】



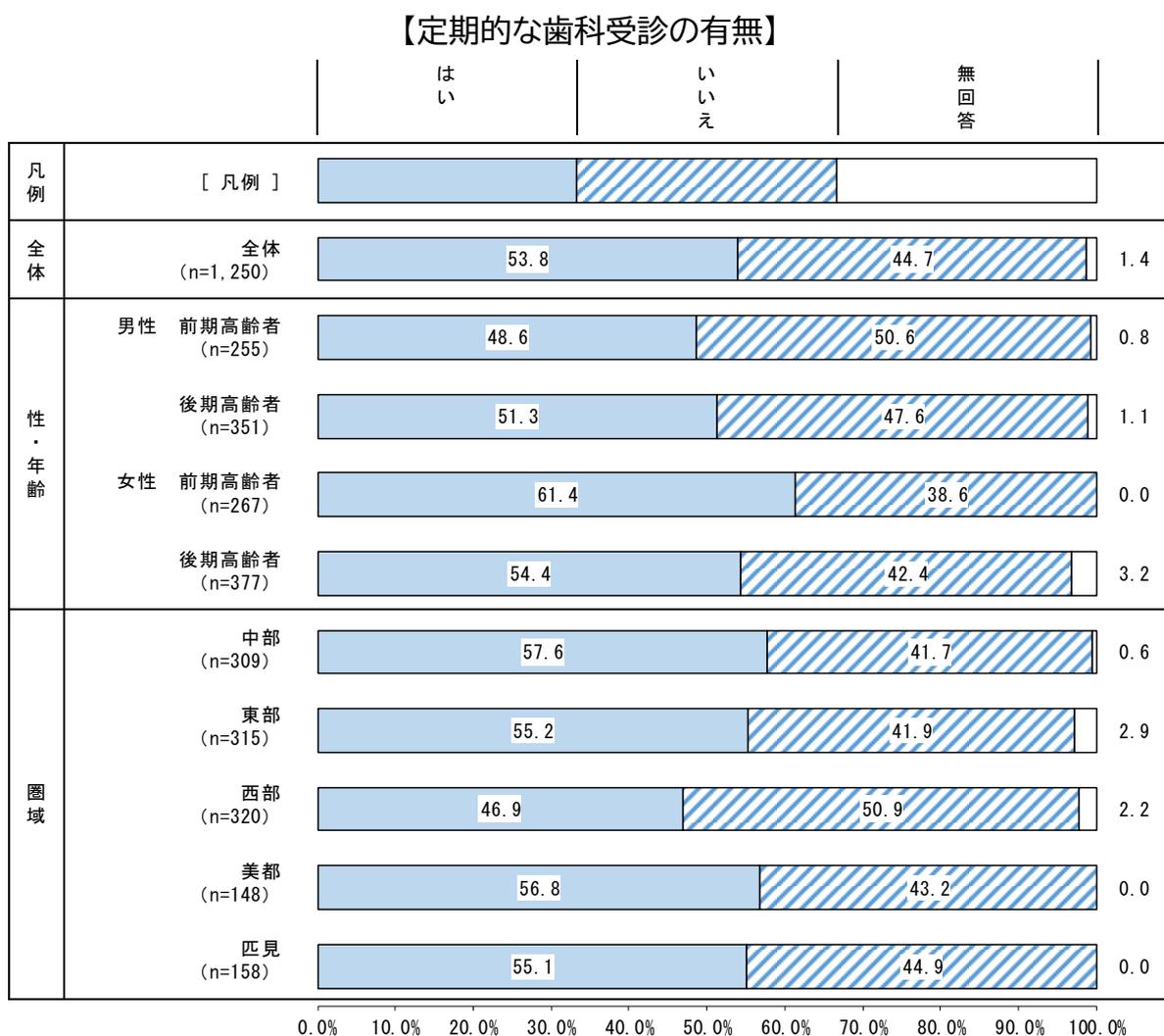
単位：%

		母数 (n)	携帯電話やスマートフォンの用途 (MA)							
			家族や友人などへの電話やメール	情報収集 (インターネットの検索等)	娯楽 (ゲームをする等)	カメラ機能で写真や動画を撮る	地域や個人の情報発信 (インスタグラム、facebook等)	その他	利用していない (または持っていない)	無回答
全体		1250	81.8	29.5	10.8	38.0	4.0	3.5	13.8	2.0
性・年齢	男性 前期高齢者	255	90.6	△ 48.6	17.6	43.5	8.6	2.7	4.3	1.2
	男性 後期高齢者	351	76.1	▼ 19.1	8.0	▼ 22.2	1.4	6.0	17.7	2.3
	女性 前期高齢者	267	△ 94.4	△ 48.3	16.1	△ 62.2	5.6	3.4	4.1	0.7
	女性 後期高齢者	377	72.4	▼ 13.0	5.0	31.8	2.1	1.9	23.6	3.2
圏域	中部	309	80.6	36.6	12.9	38.2	4.9	4.9	15.9	1.3
	東部	315	78.4	25.7	9.8	34.6	2.2	2.9	18.1	2.2
	西部	320	82.8	29.4	9.4	37.5	3.1	3.1	9.1	3.1
	美都	148	83.1	27.0	12.2	43.2	5.4	1.4	16.2	0.7
	匹見	158	88.0	25.9	10.1	40.5	6.3	5.1	8.9	1.9

(8) 歯科受診について

●問 9.8 定期的に歯科受診をしていますか

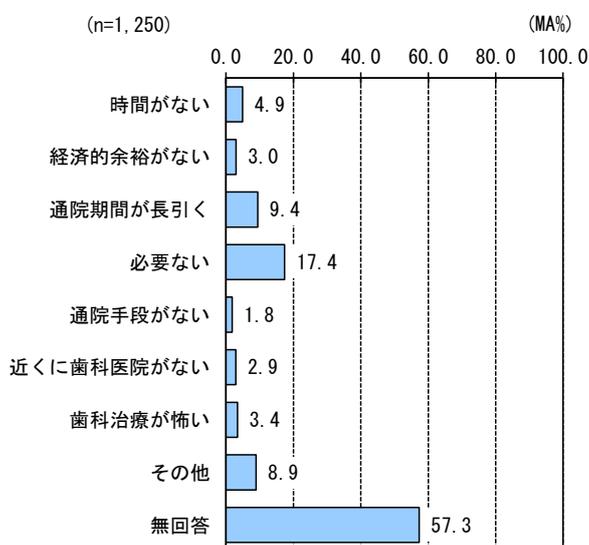
<p>【全体】</p> <p>○ 定期的な歯科受診の有無について、「はい」が 53.8%、「いいえ」が 44.7%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「いいえ」は西部が 50.9%と他の区分に比べて多くなっています。</p>



●問 9.9 歯科受診をしていない場合、その理由は何ですか(いくつでも)

- 【全体】
- 歯科受診をしていない理由について、「必要ない」が 17.4%で最も多く、次いで「通院期間が長引く」が 9.4%、「時間がない」が 4.9%となっています。
- 【性・年齢】
- 「通院期間が長引く」は女性 前期高齢者が 12.0%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「必要ない」が多くなっています。
- 【圏域】
- 「通院期間が長引く」は西部が 13.4%と他の区分に比べて多くなっています。
 - 「必要ない」は西部が 20.3%、美都が 18.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【歯科受診をしない理由】



単位：%

	母数 (n)	歯科受診をしていない理由 (MA)									
		時間がない	経済的余裕がない	通院期間が長引く	必要ない	通院手段がない	近くに歯科医院がない	歯科治療が怖い	その他	無回答	
全体	1250	4.9	3.0	9.4	17.4	1.8	2.9	3.4	8.9	57.3	
性・年齢	男性 前期高齢者	255	8.2	4.7	9.8	20.0	-	2.7	2.4	10.6	50.6
	男性 後期高齢者	351	2.8	2.0	7.4	23.6	0.3	2.6	2.6	7.1	55.6
	女性 前期高齢者	267	6.4	3.0	12.0	12.0	1.1	1.5	6.0	5.6	62.9
	女性 後期高齢者	377	3.4	2.7	9.3	13.8	4.8	4.2	3.2	11.7	59.4
圏域	中部	309	3.2	2.6	7.4	16.8	1.3	3.2	3.6	9.1	59.9
	東部	315	7.3	2.9	8.9	16.2	1.0	1.9	4.8	7.0	60.0
	西部	320	4.4	3.8	13.4	20.3	3.8	4.4	3.1	10.0	50.6
	美都	148	3.4	1.4	6.8	18.9	1.4	-	2.0	8.8	60.8
	匹見	158	5.7	3.8	8.9	13.9	0.6	3.8	2.5	10.1	57.0